

令和3年度 東京都立芝商業高等学校 学校経営計画

令和3年4月1日

校長 大林 誠

I 目指す学校像

教育理念

ビジネス教育を核とした教育活動を通して、グローバル化する社会環境の中で自立することのできる人材の育成を使命とし、人権尊重・社会貢献の精神を育み、勤労意欲に溢れ、正しい職業観と社会性をもった人間を育成する。

学校組織

- 基礎学力を身に付けさせるとともに、実践的学習を通して社会人基礎力を育成する学校。
- 国際社会に通用する英語、会計、ICTをツールとして活用できる生徒を育成する学校。
- 激変する社会の中で生徒に明確な将来の目標をもたせ、その実現に向けて支援する学校。
- 生徒が目標をもって主体的に学び、特別活動や部活動等に意欲をもって取り組む学校。
- 良好な人間関係を構築しながら相互に人格を尊重できる品位をもった明るい活発な学校。
- 目標や情報の共有化、学校経営の透明化により、モチベーションとモラルの高い学校。

II 中期的目標と方策

1 独自性のある教育内容や指導方法を追究する。

- (1) ビジネス科としての特色化を図るため、都立高校改革推進計画・新実施計画の商業教育検討委員会報告書に基づくビジネス教育の具体的な取組を推進するとともに、新学習指導要領への移行を円滑に行う。
- (2) 社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）を育成するため、商業高校としての特色を最大限に生かし、地域や企業等と連携を図りながら意図的・系統的にキャリア教育を推進する。

2 生徒、保護者及び地域等から厚い信頼を得る。

- (1) 質の高い教育サービスを確実かつ効果的に提供するため、東京都コンプライアンス基本方針に基づき、教職員相互の協力と理解で同僚性の高い組織を構築する。
- (2) 令和6（2024）年の創立100周年に向けて、本校の伝統と歴史を継承するとともに、「支援」「連携」「調和」をキーワードに時代の要請に的確に応える透明性の高い学校経営を推進する。

〔年度〕	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
(創 立)	97周年	98周年	99周年	100周年 (5.14)
(教育課程)	新課程 教科書選定	新教育課程開始	新教育課程完成	新教育課程完成
(100周年)	準備委員会立上げ	記念誌編集、祝賀会等検討	記念式典計画	記念式典・祝賀会挙行・記念誌発行

III 今年度の取り組み目標と方策

教育活動の目標と方策

学校経営（学校運営）

- (1) 魅力ある教育活動を広く都民に発信するため、PTAや喬松会（同窓会）等との連携を図り全校体制で募集広報活動を行うとともに、学校開放事業により開かれた学校づくりを推進する。
- (2) 立地条件を生かした教育活動を展開するため、中高連携、高大連携、地域連携（島しょ地区を含む）及び企業連携等を推進し、外部人材のもつ多様な教育力を有効かつ継続的に活用する。
- (3) 保有する生徒等の個人情報適切に管理・運用するため、「東京都立芝商業高等学校保有個人情報安全管理基準」等の規定を遵守し関係職員相互による点検等を行い、事故ゼロを継続する。
- (4) ライフ・ワーク・バランス等を推進するため、部活動指導員の活用、学校閉庁日、アンケート集計や緊急連絡などWeb等の活用による校務改善に取組み、より一層教育の質の向上を図る。
- (5) 基礎学力の定着を図るため、習熟度別授業や少人数編成授業を実施するとともに、学力スタンダードや技能スタンダードによる明確な学習目標に基づいた指導と観点別評価の充実を図る。
- (6) 主体的・対話的で深い学びを実現するため、ICT機器を活用したデジタル化を推進するとともに、アクティブ・ラーニングやユニバーサルデザイン等の視点を工夫した授業改善に取組む。
- (7) 情報を統合・考察し根拠に基づいて表現する力を育成するため、身近な課題を教科と結び付けて思考・判断・表現する場面を設定したり教科横断的な視点で授業展開したりする。
- (8) 新学習指導要領への円滑な移行を行うため、現行の教育課程における各教科等の課題解決を図るとともに、来年度に迫ったグランドデザインに基づく新しい教育課程の実施を準備する。

学習指導

教育活動の目標と方針	生活指導・進路指導	(9) 心身ともに健やかな成長を促進するため、規則正しい生活習慣の確立、体力の向上や健康の増進等を図るとともに、スクールカウンセラー等と連携して安心して生活できる環境を構築する。 (10) ビジネスマナーを育成するため、服装検査やチャイム始業等により身だしなみや時間厳守等の徹底を図るとともに、時代に即した指導の在り方を検討し生徒が主体的に行動できるようにする。 (11) 生徒が希望する進路を実現するため、就職懇談会、進路集会、進路面談や小論文講座等を組織的・計画的に実施して多様な希望を支援するとともに、進路決定後の支援の充実を図る。 (12) 職業観や勤労観を育成するため、国際ロータリー等と連携した1年生全員のインターンシップの実施や竹芝エリアマネジメント等との連携により組織的・計画的にキャリア教育を展開する。
	特別活動・その他	(13) 集団生活における規律ある行動や態度を育成するため、学年集会、ホームルーム活動、委員会活動や学校行事、清掃活動や美化活動、部活動等を全て連動するように創意工夫する。 (14) 共生社会の一員としての自覚を深めるため、特別支援学校との交流や障害者スポーツの体験等を通して誰もが相互に支え合い認め合うことの大切さを経験できる機会を提供する。 (15) 自助・共助の精神を育成するため、地域と連携した体験的・実践的な防災教育を行うとともに、非常時電力供給を企業と連携するなど災害時帰宅支援ステーションとしての対応力を強化する。 (16) 教育活動を計画的・効果的に実施するため、自律経営推進予算執行計画に基づきスピーディに予算執行して落差金を活用するとともに、校舎の老朽化に伴う教育環境の整備等に取り組む。
重点目標と方針	(学校経営)	① 意欲のある生徒を積極的に確保するため、組織的・計画的に学校説明会や体験入学、出前授業等を展開するとともに、本校の特色ある教育活動を周知するための効果的な手段を検討する。 ② 他者理解や社会貢献の精神を育成するため、竹芝地区まちづくり協議会や福井県池田町、竹芝タウンデザイン等と連携し幅広い年齢層との交流による体験的・実践的な学びの場を提供する。
	学習指導	③ 創造的な能力や実践的な態度を育成するため、第1学年「ビジネス基礎」及び第2学年「ビジネスアイデア」及び3学年「課題研究」等におけるこれまでの実践について充実・改善を図る。 ④ 自ら進んで学習する習慣を育成するため、各教科や学年において課題の提示を工夫するとともに、放課後の教室や学校図書館の効果的活用等により自学自習時間及び読書時間の増加を図る。
	生活指導・進路指導	⑤ 自らの命を守る力や他者の生命を尊重する心を育むため、生徒情報を共有した予見・予防型の生活指導により体罰やいじめ(SNSを含む)等のない安全・安心に生活できる環境を構築する。 ⑥ 達成感や向上心を育成するため、ビジネスGPを活用し資格取得や検定試験の受験を励行するとともに、学習成果を発表する場を設定し、希望する進路の実現や挑戦する意欲の醸成を図る。
	特別活動・その他	⑦ 国際人としての素養を育成するため、東京グローバルゲートウェイや英国研修への参加等を促進するとともに、オリンピック・パラリンピック教育を通して豊かな国際感覚等を醸成する。 ⑧ 協調性やコミュニケーション能力を育成するため、部活動や生徒会活動、異校種との連携、地域社会での活動等を通して異年齢間における交流活動を展開し、良好な人間関係を構築する。

IV 数値目標 ※()内は昨年度実績

(入学時)	(在学时)	(卒業時)
A 推薦 2.0 倍以上 (1.90 倍) B 学力 1.0 倍以上 (0.81 倍)	C 自律経営推進予算執行率 100%(89.3%) D 入学満足度 80%以上(84.8%) E 教育相談満足度 75%以上(56.7%) F 家庭等の学習時間が30分未満の生徒の割合 25%以下(39.7%) G 不読率(1か月に1冊も本を読まない生徒の割合) 20%以下(41.2%) H 進路指導満足度 100%(88.8%) I 全商検定1級合格者 120 名以上(88 名) J 部活動加入率 100%(79.1%)	K 進路決定率 100% (100.0%)

三つの柱・SCH

Shiba Commercial High school=Support (支援) Cooperation (連携) Harmony (調和)